



ホタルは幼虫で暮らす時間が長い。交尾し産卵するために成虫となり、その時オスとメスは光で交信して相手を探します。メスが水辺の葉に止まり輝き、オスがその上を輝きながら飛びまわります。

ホタルのエサとなる巻貝

ゲンジボタルの幼虫はカワニナを、ヘイケボタルの幼虫はその他にタニシやモノアラガイなどいろいろなものをエサとしている。



カワニナ



マルタニシ



モノアラガイ

その他の光るホタル

クロマドボタルの幼虫

月もなく真っ暗な夜に、水辺周辺の森の地面や落ち葉、木の枝などでかすかな輝く点を見つけることがあります。近づいてみるとイモムシのような形をした幼虫のしっぽが光っています。これはクロマドボタルの幼虫です。成虫は光りません。ゲンジボタルやヘイケボタルに比べると見劣りますが、幼虫なので長期間見ることができます。



ヒメボタル

陸生のホタルの代表のヒメボタルが、網張ビジターセンターや南昌山などで見つかっています。

幼虫が森にすむ貝類を食べます。輝きの点滅が早く、色も黄色っぽく、ゲンジやヘイケボタルとは違います。

滝沢村でも岩手山の裾野の森に生息していると思われます。まだホタル探検隊への報告がわかりませんが皆さんで探して見てください。7月に発生するものと予想されます。下の写真は網張方面のミズナラとブナの林内のヒメボタルです。



滝沢村のヒメボタルを探そう！

鞍掛山から岩手山の裾野の雑木林にいるかも？